

令和3年度事業報告書

I. 事業の概要

昭和聖徳記念財団は、昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、昭和天皇記念館の管理運営を行うとともに、学術研究への助成、青少年の健全育成及びご事績に関する講演会の開催や出版等の事業を行うことを目的としている。

当財団創設以来の念願であった昭和天皇記念館は、平成14年4月、国土交通省において、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として整備を進めてきた国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」内の「花みどり文化センター」の一部に設置することとされ、その展示運営については、当財団の協力を得ることと決定された。当財団としては、これを受けて「花みどり文化センター」の一郭に展示施設としての内装を整え、宮内庁をはじめ、(独)国立科学博物館筑波研究資料センター、NHK放送博物館などの協力を得て、平成17年11月27日、昭和天皇記念館を国営昭和記念公園の「みどりの文化ゾーン」の開園と併せ開館し、令和2年に開館15周年を迎えた。

また公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い平成23年3月23日公益認定を受け、同年4月1日に公益財団法人へ移行した。

令和3年度も事業計画に沿って、昭和天皇記念館の展示内容に一層の工夫をこらし運営の改善に努め、記念館以外の諸事業についても内容の充実に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため一部の事業を断念せざるを得なかった。

1. 公益目的事業

(1) 昭和天皇記念館の管理運営事業 34,157千円

昭和天皇記念館は、昭和天皇のご聖徳をたたえそのお人柄をお偲びするとともに、後世にそのご事績を伝えつぐことを目的として開設した。

昭和天皇並びに香淳皇后のご遺品や映像などの展示により昭和の時代を顧みるとともに、昭和天皇の御心とお姿を一人でも多くの方に知っていただくため、令和3年度においては、平常展示「昭和天皇87年のご生涯」及び「昭和天皇の生物学ご研究」のほか、特定費用準備資金を取り崩し、開館15周年特別展示「昭和天皇とヨーロッパの旅—天皇への学びの旅と国際親善」の写真展を令和2年9月10日から令和3年12月28日まで4期に分け実施した。さらに令和4年1月2日から4月10日までの予定で総集編を開催している。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大のため令和2年12月26日から令和3年4月4日まで、さらに4月25日から6月4日まで2回にわたり臨時休館した。令和3年度の入館者数は、対前年度18%増の6,231名(うち有料入館者は5,500名)であった。平成17年11月27日の開館以降の累計

入館者数は330, 352名となった。

※【記念館管理運営事業収入 2,147千円】

※【書籍頒布事業収入 133千円】

(2) 生物学、医学等の学術研究への助成 1,733千円

昭和天皇は、皇居内の生物学御研究所で、ご公務の合間にご研究を続けられた。ご専門は変形菌類、海産動物のヒドロ虫類の分類学的研究だった。また那須や須崎の御用邸、皇居の周辺などでも、植物の調査・研究をお続けになられた。著書も多く出版され、業績は国際的に高く評価されている。

学術研究への助成は、平成3年度から、生物学に関する世界的学術者としての昭和天皇の研究分野(系統分類学)及びそれに関する生物学分野の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的として行い、令和2年度までに100件(応募件数は1471件)の助成を行った。令和3年度も引き続き動・植物における系統分類学の研究を対象として公募、応募件数44件(動物関係33件、植物関係9件、その他2件)の中から学術研究助成委員会で審査の結果、次の2氏が助成対象候補として選ばれた。令和4年3月2日の理事会(みなし決議)で承認され、事務局から学術研究助成金交付証が送付された。

自見直人 名古屋大学菅島臨海研究所助教

【八放サンゴ共生性ウロコムシ類の系統分類学】

平野尚浩 東北大学東北アジア研究センター助教

【日本産ナメクジ科の系統分類学研究】

(3) 昭和天皇のご事績普及に関する事業の実施 14,968千円

①ご事績に関する事業 55千円

毎年行っている、昭和の日を記念して昭和天皇のご遺徳を偲び、ご事績を後世に伝えるための講演とビデオ上映会、昭和天皇のご命日にあたる1月7日の御陵参拝、さらに昭和天皇・香淳皇后の御陵をはじめ東京豊島岡の皇族方の御墓清掃等の陵墓勤労奉仕は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年度も実施できなかった。

②新聞「昭和」発行事業 9,992千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、ご事績を後世に伝えるため、新聞「昭和」を平成元年6月から発行、平成7年度からは一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けている。新聞「昭和」では、昭和天皇、昭和の関連記事及び昭和天皇記念館の展示内容、さらには現皇室のご動静記事も掲載している。

令和3年度においても、引き続き新聞「昭和」(年6回、各20,000部)を発行し、記事の内容の充実に努め、各所に配布した。

※【日本宝くじ協会助成金収入 6,439千円】

③昭和天皇御製カレンダー製作事業 4,921千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、宮内庁の許可を得て平成6年から「昭和天皇御製カレンダー」を製作、贈呈頒布している。

令和3年度においても、引き続き昭和天皇のご遺徳、御製を広め伝えるため、令和4年版「昭和天皇御製カレンダー」(5,500部)を製作、贈呈頒布した。

※【御製カレンダー頒布収入 3,996千円】

事業費合計	50,858千円
※助成金等収入	<u>-12,715千円</u>
	38,143千円

2. 収益事業

昭和天皇記念館MS事業 2,684千円

昭和天皇記念館において、入館者のために記念となる品々の頒布を目的としたミュージアムショップの事業を営んだ。

※【記念館MS収入 3,478千円】

II. 主要な人事

令和3年

- 6月4日 山崎 正昭氏 理事(副会長)就任
- 齋藤 十朗氏 理事(副会長)退任
- 6月21日 大給 乗龍氏 理事重任
- 廣瀬 道男氏 理事重任
- 本野 晃氏 監事再任
- 山口 均氏 評議員重任

III. 主要な会議

1. 理事会の開催

○第27回理事会

理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月4日
理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者 会長 伊吹文明
議事録の作成に係る職務を行った理事 会長 伊吹文明
理事総数 11名
監事総数 2名

(理事会の決議の目的である事項)

- 第1号議案「令和2年度事業報告書の承認」の件
- 第2号議案「令和2年度財務諸表の承認」の件
- 第3号議案「第22回評議員会(定時)招集」の件
- 第4号議案「副会長選定」の件
- 第5号議案「理事候補者推薦」の件
- 第6号議案「監事候補者推薦」の件
- 第7号議案「評議員候補者推薦」の件

○第28回理事会

理事会の決議があったものとみなされた日 令和4年3月2日
理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者 会長 伊吹文明
議事録の作成に係る職務を行った理事 会長 伊吹文明
理事総数 11名
監事総数 2名

(理事会の決議の目的である事項)

- 第1号議案「令和3年度学術研究に対する助成事業承認」の件
- 第2号議案「令和4年度事業計画書の承認」の件
- 第3号議案「令和4年度収支予算書の承認」の件
- 第4号議案「第23回評議員会(定時)招集」又は「みなし決議」の件
- 第5号議案「事務局長承認」の件

2. 評議員会の開催

○第22回評議員会

評議員会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月21日
評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者 会長 伊吹文明
議事録の作成に係る職務を行った理事 会長 伊吹文明
評議員総数 11名

(評議員会の決議の目的である事項)

- 第1号議案「令和2年度事業報告書の承認」の件
- 第2号議案「令和2年度財務諸表の承認」の件
- 第3号議案「理事選任」の件
- 第4号議案「監事選任」の件
- 第5号議案「評議員選任」の件

○第23回評議員会

評議員会の決議があったものとみなされた日 令和4年3月16日
評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者 会長 伊吹文明
議事録の作成に係る職務を行った理事 会長 伊吹文明
評議員総数 11名

(評議員会の決議の目的である事項)

- 第1号議案「令和3年度学術研究に対する助成事業承認」の件
- 第2号議案「令和4年度事業計画書の承認」の件
- 第3号議案「令和4年度収支予算書の承認」の件

IV. 会員の状況

令和4年3月31日現在会員数

個人会員	461人
法人会員	34社
賛助会員	33件
個人終身会員	3,537人
<u>法人永久会員</u>	<u>26社</u>
計	4,091

《 附属明細書 》

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。